

塩竈市文化財保存活用地域計画（案）

パブリックコメントの提案等で修正・追加した箇所

No.1 邸宅名

P35 カ 邸宅

6 行目 「塩竈文化村に残る文化住宅の「三宅邸」などがあります。」を
→「塩竈文化村の面影を残す文化住宅などがあります。」に変更

No.2 把握調査

P48 ■文化財調査報告書

5 段目 「仙台地区(平成 25 年度)『伝統・伝承芸能記録保存』」を追加

6 段目 「仙台筆筒所在調査報告書」を追加

P49 ■鹽竈神社関連

1 段目 「鹽社史料」を→「鹽竈神社の鹽竈桜」に差替え

18 段目 「鹽竈神社博物館 開館五十周年記念「鹽竈神社博物館の刀剣」図録」を追加

P51 ■論文等②

20 段目 「塩竈の商いと暮らしの記憶 IV」を追加

P52 ■論文等③

1 段目 「港湾都市の形成と変遷過程に関する研究 湊町塩竈を対象として」を P51 から移動

2 段目 「東北民俗学研究 第 8 号 岩崎敏夫先生追悼号 鹽竈神社の神像軸」を追加

11 段目 「仙台城下への肴の道」を追加

12 段目 「初めて世界一周した日本人 若宮丸漂流民」を追加

16 段目 「仙台藩の洋式帆船 開成丸の航跡 幕末の海防構想と実践の記録」を追加

P53 ■東北歴史博物館関連

4 段目 「塩竈・松島－その景観と信仰－」を追加

P54 ■郷土史（郷土史家）

1 段目 「潮痕」を追加

2 段目 「浦戸歴史散歩」を追加

5 段目 「鹽竈雑話」を追加

7 段目 「ふるさと博物誌」を追加

22 段目 「塩竈の女性史」を追加

23 段目 「塩竈街道」の考証（仙臺郷土研究復刊第 30 巻 1 号）」を追加

27 段目 「塩竈のむかしばなし」を追加

29 段目 「旬刊しおがま」復刻版」を追加

P55 ■団体・所有者

1 段目 「ラッコ船開盛丸の受難」を追加

2 段目 「社殿造営四十周年記念『籬島思考』」を追加

6 段目 「しほがま みなと昔話し」を追加

7 段目 「三陸汽船－東北地方の交通・経済発展に大きく貢献した地元資本会社－」
を追加

8 段目 「鎖国の時代に世界一周した若宮丸の津太夫と佐平」を追加

9 段目 「幕末最強の軍艦 開陽丸と塩竈」を追加

15 段目 「学生が作る塩竈歴史案内「銀河鉄道の夜」と塩竈」に修正

18 段目 「市民と作る塩竈歴史案内第六集 肴の道の歴史」を追加

21 段目 「鹽竈神社の鹽竈ザクラ」を追加

No.3 未指定文化財の調査

P59、P62、P65～66 に記載…変更なし

No.4 塩竈石

P13 ④塩竈市杉村惇美術館 ※塩竈石の使用が確認できないため削除

「昭和 25 年（1950）に塩竈市公民館として建造され、日本初の集成材を用いた逆さカタナリー曲線が美しい大講堂に加え、塩竈石を使用した建物であることから市指定の文化財になっています。平成 26 年（2014）に塩竈ゆかりの洋画家の杉村惇美術館としてリノベーションしました。」を

→「昭和 25 年（1950）に塩竈市公民館として建造、平成 26 年（2014）に塩竈ゆかりの洋画家・杉村惇の静物画を展示する公民館併設の美術館としてリノベーションされました。レトロな雰囲気を生かした常設・企画展示室や講習室、カフェの他、美しい逆さカタナリー曲線の大講堂ではイベントなども開催されています。」に修正

P26 塩竈市杉村惇美術館の説明文

※塩竈石の使用が確認できないため凝灰岩に修正

18 行目「1 階は塩竈石表面仕上げに…」を

→「1 階は凝灰岩を表面仕上げに…」に修正

P35 オ 石蔵・板倉

※塩竈石以外の石材使用もあるため修正、塩竈石の特性を追加

1 行目「市内には地元で産出した塩竈石を用いた石蔵が…」を

→「市内には耐火性に優れた塩竈石などの凝灰岩を用いた石蔵※が…」に修正。

頁の最下部「※市内では凝灰岩を用いた蔵を岩蔵と呼ぶ事例もあります」の注釈を追加。

P35 キ 民家

※塩竈石の海苔乾燥庫が他の石材と判明したために修正、凝灰岩が利用された理由を追加。

2 行目「寒風沢を中心に地元で産出した「塩竈石の海苔乾燥庫」（写真⑪）が民家に付属して数多く残されています。海苔の一大産地と、塩竈石という石材の産地が融合した塩竈独特の建築様式といえます。」を

→「寒風沢を中心に「海苔乾燥庫（凝灰岩製）」（写真⑫）が民家に付属して数多く残されています。戦後の一時期、海苔の乾燥に船舶重油を利用した熱風乾燥機を導入するために、耐火性のある凝灰岩を用いたもので、近接し産業として現役であった野蒜・潜ヶ浦地方（東松島市）の石材が使われました。」に修正

P-40 ⑮文化的景観 ※塩竈石の海苔乾燥庫が他の石材と判明したために修正

2 行目「浦戸寒風沢の「塩竈石の海苔乾燥庫群」…」を

→「浦戸寒風沢の「海苔乾燥庫群（凝灰岩製）」…」に修正

P-84 写真見出し ※塩竈石の海苔乾燥庫が他の石材と判明したために修正

2 段目「③⑩塩竈石の海苔乾燥庫群」を →「③⑩海苔乾燥庫群(凝灰岩製)」に修正

P-85 文化財の名称 ※塩竈石の海苔乾燥庫が他の石材と判明したために修正

32 段目「③⑩塩竈石の海苔乾燥庫群」を →「③⑩海苔乾燥庫群(凝灰岩製)」に修正

P-86 (4)「浦戸区域」の歴史的建造物の保存・活用が必要

※塩竈石の海苔乾燥庫が他の石材と判明したために修正

4 行目「寒風沢の地元産である塩竈石の海苔乾燥倉庫群は…」を

→「寒風沢を中心とした海苔乾燥倉庫群（凝灰岩製）は…」に修正

P-87 (4)「浦戸区域」の歴史的建造物の保存・活用を推進

※塩竈石の海苔乾燥庫が他の石材と判明したために修正

1 行目「寒風沢の文化的景観となっている塩竈石の海苔乾燥倉庫群は…」を

→「寒風沢の文化的景観となっている海苔乾燥倉庫群（凝灰岩製）は…」に修正

P-89 B-4-1 歴史的建造物の把握調査

※塩竈石の海苔乾燥庫が他の石材と判明したために修正

1 行目「寒風沢の塩竈石倉庫群など…」を

→「寒風沢の海苔乾燥庫群（凝灰岩製）など…」に修正

No.5 文化財担当職員・収蔵庫・博物館

P59、P62、P66、P67、P78、P79、P80 に記載…変更なし

No.6 登録有形文化財

P59、P62、67、P78、P79、P81 に記載…変更なし

No.7 浦戸の歴史(白石廣造邸跡・津太夫生家跡)環境整備

P40 ⑫記念物(遺跡)

4 行目 「浦戸寒風沢は、仙台湾に面する主要な港湾の中間に位置し、水深があって強風の影響を受けにくいことから、江戸に向かう廻船の拠点港としての「御城米御蔵跡」(写真③⑧)があります。」を

→「浦戸寒風沢には、江戸に向かう廻船の拠点港としての「御城米御蔵跡」(写真③⑧)や“初めて世界一周した日本人”となった津太夫の生家跡があります。」に変更

P82 「浦戸区域」の概要及び文化財

下から 12 行目 「また、“初めて世界一周した日本人”となった津太夫の生家跡があります。」を追加

P86 (2)「浦戸区域」の文化財の環境整備が必要

「石碑や遺跡等が、雑草に覆われて所在確認が困難であったり、歴史サインや標柱の老朽化が目立つことから、文化財の環境整備が求められています。」を

→「白石廣造邸跡をはじめ、遺跡や石碑等が雑草に覆われて見学や所在の確認が困難であったり、遺跡標示板等の老朽化が目立ち、津太夫の生家跡などへの新たな設置の検討も必要なことから、文化財の環境整備が求められています。」に変更

P87 (2)「浦戸区域」の文化財の環境整備を推進

「歴史サインや標柱の整備を計画的に行うとともに、市民協働で定期的な草刈りを実施し、文化財の環境整備をします。」を

→「白石廣造邸跡などの遺跡や石碑等の周辺を市民協働で定期的に草刈りを実施するとともに、老朽化した遺跡標示板等の再整備や、津太夫の生家跡などへの新たな設置を検討しながら文化財の環境整備を進めます。」に変更

P88 B-2-1 文化財周辺の美化活動

「文化財周辺の清掃や草刈りなどの美化活動を市民協働で行う。」を

→「白石廣造邸跡をはじめ、文化財周辺の清掃や草刈りなどの美化活動を市民協働で行う。」に変更

P88 (2)「浦戸区域」の文化財の環境整備を推進

「B-2-2 歴史サインや標柱の整備 QRコード付き・多言語標記の歴史サインや貝塚等を示す標柱を整備する。」を

→「B-2-2 遺跡標示板等の整備 老朽化した遺跡標示板等をQRコード付きで再整備し、津太夫の生家跡等への新たな設置を検討する。」に変更

No.8 タイムシップ塩竈

P13 (3) 市内文化財施設

1 段目 「①塩竈市図書館タイムシップ塩竈 市民図書館内にあり…」を

→「①タイムシップ塩竈 市民交流センター内にあり…」に修正

P68 II-1-9 文化財展示施設のリニューアル

1 行目 「市民図書館に附属する文化財展示施設…」を

→「市民交流センターの文化財展示施設…」に修正

No.9 三陸汽船ドック

P35 ク 近代港湾建造物

4 行目 「旧三陸汽船の乾ドック」を →「東北ドック鉄工2号ドック」に修正

P35 写真見出し

「⑫旧三陸汽船の乾ドック」を → 「⑫東北ドック鉄工 2 号ドック」に修正

P74 「塩竈区域」の概要及び文化財

下から「その背後の造船所には、明治時代の「旧三陸汽船乾ドック」(写真⑦)
6 行目 が近代遺産として残され、林立する巨大なクレーンとともに…」を

→「その背後には、昭和 10 年（1935）に整備された「東北ドック鉄工 2 号ドック」(写真⑦) が近代遺産として残され、林立するクレーンとともに…」に修正

P75 写真見出し

1 段目 「⑦旧三陸汽船乾ドック」を → 「⑦東北ドック鉄工 2 号ドック」に修正

No.10 国の補助金制度

P65 に記載…変更なし

No.11 未指定文化財（東北ドック鉄工第 1 ドック）

→文化財リストに記載済み

No.12 未指定文化財（市役所背後防空壕）

→文化財リストに記載済み

No.13 未指定文化財（三千トン岸壁等近代港湾整備）

→文化財リストに記載済み

No.14 未指定文化財（塩釜線ホーム）

→文化財リストに記載済み

No.15 未指定文化財（穴川）

→文化財リストに記載済み

No.16 未指定文化財（いしぶみ）

→文化財リストに記載済み

No.17 未指定文化財（塩竈サフラン湯）

→文化財リストに記載済み

No.18 歴史的風致維持向上計画

→記載予定なし